

# 希望の鐘

第35号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

## ONE FOR ALL, ALL FOR ONE

校長 上野修子

3学期が始まりました。短い学期ですが学習に集中できる、いやしなくてはならない大切な時期ですので、始業式では生徒たちに「大人になったとき、幸せな人生を送るための力をつけるのが勉強である。」という話をしました。学力向上に向けた取組をいっそう進めていきたいと思えます。

さて、昨年度行われたラグビーのワールドカップで、日本チームは大活躍をしました。強豪の南アフリカ共和国に逆転勝利という大金星をあげ、予選リーグはなんと3勝したのです。それとともに今や日本のラグビー人気はうなぎ上りです。最近ではマスコミにもひっぱりだこのようで、特に五郎丸選手のキック時のルーティンは独特なのでなにかと話題となっています。

八戸市の国宝「合掌土偶」の公式マスコットキャラクター「いのるん」にラグビー日本代表のユニフォームをあしらったものが登場しました。五郎丸選手の両手を合わせて祈るようなポーズが合掌土偶と似ているというのです。五郎丸ならぬ「八郎丸」効果ができればいいのですが。

ところで、ラグーマンたちがよく口にする「一人はみんなのために、みんなはひとりのために。」という言葉はラグビーのチームプレー精神のように語られています。実は出典はアレクサンドル・デュマ作「三銃士」で、ダルタニアンたちが叫ぶ言葉からなのだそうです。

このチームワーク精神はスポーツの世界に限ったことではないと私は考えます。ですから、学級目標にとりあげられたりするのですね。

裏面で2学期に実施した学校評価アンケートの結果をお知らせします。行事を通して絆が生まれた学級の生徒は自分のクラスに満足しているようですが、クラスがうまくまとまらないとか、居心地があまりよくないとか悩みを抱えている生徒もいるようです。今のクラスで生活するのは残りわずか、立志式や希望式、卒業式もあります。少しでもよいクラスになるよう、一緒に考えていきませんか。

一人はみんなのために、  
みんなはひとりのために。

### 1. 2月の予定

- |     |        |                                |
|-----|--------|--------------------------------|
| 1 / | 26 (火) | 青少年G訪問<br>午前授業<br>小中J Sキャリア講演会 |
|     | 28 (木) | 英語スペコン                         |
|     | 29 (金) | 3年テスト週間                        |
| 2 / | 1 (月)  | 新入生保護者説明会                      |
|     | 2 (火)  | 未来への架け橋講座                      |
|     | 3 (水)  | 12年保護者参観日<br>2年立志式             |
|     | 5 (金)  | 3年5次考査<br>漢字検定                 |
|     | 12 (木) | 私立高校入試                         |
|     | 19 (金) | 1、2年テスト週間                      |
|     | 21 (日) | 八高専入試                          |
|     | 26 (金) | 1、2年5次考査                       |

# 栄光の記録

冬休み中の活動から

# おめでとう

- 吹奏楽アンサンブルコンクール県大会 金管五重奏 **金賞**
- 八戸市中学校バレーボール新春大会 女子 **第2位**
- 八戸市中学校剣道安協大会 男子団体 **第3位**



## 今月の地域密着事業

～「未来への架け橋講座」～



1月19日火曜日。

未来への架け橋講座の講師は本校卒業生で、デーリー東北新聞社で新聞記者として活躍している、上條哲洋さんをお願いしました。暴風雪警報がでており、南郷の避難所への取材を控えた忙しい中、本校生徒のために講話をしてくださいました。参加生徒は1年生16名、2年生19名でした。仕事内容や苦勞・喜び、学生の今やっておくことなどを聞いて、考えさせられたようでした。

次回2/2の講師は市職員でまちづくり文化推進室に勤務する古町有加さんです。

## お知らせ

～教育環境改善に係る本校の取組について～

全国的に教職員の多忙化が進み、生徒一人一人に教職員が向き合い、寄り添う時間の確保が難しいとの指摘があります。また、長時間労働によって健康障害を引き起こす教職員の増加傾向が新聞報道等でも取り上げられています。教職員一人一人が生徒としっかり向き合う時間を確保するとともに、心身ともに健康でかつゆとりのある教育環境が整備されることによってよりよい教育活動を推進できるよう、青森県教育委員会、八戸市教育委員会においても施策を検討しているところですが、各学校現場においても改善の手立てを講ずることが求められています。そこで、本校では試行期間として3学期は次のような取組を進めたいと思います。保護者の皆様には本取組の趣旨をご理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

【取組1】教職員の勤務時間について、毎週水曜日を「ノー残業デー」とし、遅くとも午後6時には退勤する。またその他の曜日については午後8時以降の時間外勤務を原則禁止とする。

【取組2】水曜日に部活動をやる場合は午後5時30分終了とする。

【取組3】これまで通り、毎月第1・3日曜日を「家庭の日」として部活動休日とすること、他の週については土曜日・日曜日のいずれかを休止日とすることを継続する。

【取組4】28年度4月から、教職員の事務の効率化を図り、生徒に向き合う時間確保のために八戸市で導入される「校務支援ソフト」の運用準備を進める。

## 2 学期学校評価アンケート結果から

マイナス評価の多かった項目

- 【生徒】 ●家でも進んで読書している。  
●学習や悩み事を先生方に相談できる。  
●テレビ、ゲーム、スマホ、SNSは時間を決めてやっている。  
●自分にはよいところがある。  
●先生はがんばったことを認めてくれる。
- 【保護者】 ●家庭でも読書の習慣が身についていると思う。  
●家事手伝いをさせている。(掃除 食事の準備・後始末)  
●テレビ、ゲーム、スマホ、SNSは時間を決めてながながと遊ばせないようにしている。
- 【教師】 ●キャリアノート活用の実践  
●各種通信での情報発信  
●学習習慣定着の指導
- 家庭では、あまりお手伝いもせず、勉強や読書よりゲームやスマホ、SNSといったことに多くの時間を費やし、その結果、学校でも学習に身が入らない、という生徒像が浮かび上がってきます。
- 自尊心や自己有用感については学年差が大きいことがわかりました。
- この結果を真摯に受け止めて今後の教育活動に生かしていきたいと思えます。  
ご協力ありがとうございました。